

平成 27 年度第 1 回石狩市地域公共交通会議議事録

1. 日 時：平成 27 年 6 月 18 日（木）13：00～14：30
2. 場 所：石狩市役所 5 階 第 2 委員会室
3. 出席委員：会長 新岡研一郎（環境市民部長）
副会長 今田美幸（北海道石狩振興局地域政策部地域政策課長）
大友晃司（札幌運輸支局首席運輸企画専門官）
黒嶋昌紀（北海道中央バス(株)石狩営業所長）
河合保郎（厚田区自治連合会）
高田 進（浜益区自治会連合会）
今倫康（北海道地方交通運輸産業労働組合協議会副議長）
福岡順子（一般公募）
真田レイ（一般公募）
田村奈緒美（広聴・市民生活課長）・吉田雅人（広聴・市民生活課主幹）
玉井真弓（広聴・市民生活課主査）・渡邊史章（広聴・市民生活課主任）
開発克久（浜益支所市民福祉課長）・寺山和孝（浜益支所市民福祉課主査）
4. 傍 聴 者：1 名
5. 議 事
 - (1) 石狩市生活交通確保維持改善計画の提出について
 - (2) 一般乗合旅客自動車運送事業の事業計画変更（中央バス札幌浜益線の廃止）について
6. そ の 他
今後のスケジュールについて
7. 議事の経過

【田村課長】

定刻となりましたので、これより「平成 27 年度第 1 回石狩市地域公共交通会議」を開催します。私、この会議の事務局をさせていただきます広聴・市民生活課長の田村と申します。会議まで進行を務めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。会議に先立ちまして、事務局職員を紹介させていただきます。

・・・事務局紹介・・・

以上のメンバーで務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。
それでは次第に沿って進めてまいります。

次第2番目の会長あいさつですが、当会議の会長は「石狩市地域公共交通会議設置要綱」第4条の規定によりまして、「石狩市環境市民部長」をもって充てることとなっておりますので、石狩市環境市民部長の新岡研一郎よりごあいさつを申し上げます。

【新岡会長】

環境市民部長の新岡と申します。昨年度より、本市では、高齢化や人口減少などにより、様々な交通課題を抱えている浜益区において、区民の生活の足を維持確保し、利用者ニーズに合い、利便性が高く、かつ、運営面・採算面でも将来にわたり持続可能な公共交通体系を構築するため、調査・検討を行い、本公共交通会議においても、昨年12月からご議論・ご検討いただいていたところですが、本日は、いよいよ、具体的な新公共交通の導入について、そして、その実施のための計画として策定する「石狩市生活交通確保維持改善計画」について、ご議論、ご決定いただく段階となりました。議題の2番目、中央バス札幌浜益線の問題とも関連性があり、地域公共交通の将来に大きく関わる重大な案件でもございますので、皆様の忌憚のないご意見や活発な議論をお願いしたいと存じます。

【田村課長】

ありがとうございました。

年度もかわりまして、新しく委員になられた方もいらっしゃいますので、新任の委員の方に自己紹介をお願いしたいと思います。会長と同様に要綱第4条の規定によりまして、副会長も充て職となっておりますので、本年3月に要綱を一部改正し、北海道石狩振興局地域政策部地域政策課長にお勤めいただきます。今田課長に最初に自己紹介いただき、続いて、大友委員の順でよろしく申し上げます。

・・・自己紹介・・・

それでは議事に入ります。ここからの進行を会長をお願いいたします。

【新岡会長】

会議の会長を務めさせていただきます、環境市民部長の新岡です。どうぞよろしくお願いいたします。

本日の会議ですが、14時30分を目途に終了したいと思っておりますので、円滑な審議を進めるためにご協力をお願いします。

議事に入る前に、この会議のルールを確認しておきたいと思えます。

今までどおり議事録は全文筆記のうえ、出席者全員の確認後、委員長の署名をもって確定すること、書面による傍聴者からの意見提出を認めるということになっておりますので、よろしくお願いいたします。

事前に事務局から郵送しております「会議次第」と「資料」はお持ちいただいておりますでしょうか。お持ちでない方はお申し出ください。

それでは早速議事に入ります。

本日の議題の1番目は「石狩市生活交通確保維持改善計画の提出について」となっております。

事務局から説明をお願いします。

【吉田主幹】

「石狩市生活交通確保維持改善計画の提出について」ご説明いたします。

本年2月に開催いたしました本会議で、本市浜益区の公共交通の再構築を目的に実施した「石狩市地域公共交通調査」の調査結果から導き出された方向性として、本公共交通会議で策定したいと考えている「地域生活交通確保維持改善計画」、これは、昨年度までは、「地域生活交通ネットワーク計画」と呼んでおりましたが、国の制度、関連例規等の改正に伴い、名称が変更となり、「地域生活交通確保維持改善計画」という名称となりました。この確保維持改善計画に位置づけるべき項目についてのご提案をし、ご了承いただいたところですが、本日は、その内容を具体化した新公共交通案について、5月下旬から地区別説明会を開催し、利用者である浜益区民にご説明し、ご意見など伺った結果も反映し、「石狩市生活交通確保維持改善計画」案としてまとめましたので、この案についてご審議のうえ、決定いただきたいと思います。なお、ご決定いただけましたならば、この計画を今月末までに国土交通省に提出する予定であることを申し添えます。それでは、計画案について、説明いたします。

始めに、資料2をご覧ください。本資料は、先ほど申し上げました地区別説明会などで使った資料から抜粋したもので、新デマンド交通の内容をまとめたものですので、この資料により概要をご説明してから、計画書案を説明したいと存じます。浜益区では、既にデマンド方式の公共交通として、浜益滝川間乗合自動車、いわゆる「滝浜線」が運行しておりますので、区民のご理解が早かったと感じております。基本的には、事前予約をして自宅前まで迎えに来てもらい目的地まで送ってもらえる方式で、定時定路線ではないものであること、また、1台の車で運用しようと考えていることから、曜日別で方面・エリアを分けて運行することにより予約重複の回避や合理的な運行経路の確保をしようとする方式です。車両は10人乗りワゴン車です。地域の交通課題として、「バス停が遠い」、「バス停まで歩くのがつらい」というアンケートのご意見が多かったので、この車両サイズは、細かい道まで入って行けるといふ利点があると考えています。運行区域は、区内及び厚田支所までとしています。特徴として、中央バスとの接続、具体的には、仮に札幌線が廃止となった場合には、厚田線始発の厚田支所のバス停までこのデマンドでお送りして、そこから中央バスに乗って札幌まで行くという利用をしてもらうことを想定し、フィーダー機能を持たせていることがあります。また、もうひとつの活用として、区内の移動に使っていただきたいということで考えております。次のページですが、フィーダー機能の説明を記載しています。中央バスのほか、沿岸バスとの接続についても想定に入れています。また、先ほどを触れましたが、曜日別でエリアを分けて運行することとしています。浜益では、既に運行しているスクールバスの一般混乗でも同様の運行をしています。隣のページにそのエリアを図示しています。また、この新デマンド交通では、アンケートでもニーズが高いことが明らかになっております医療機関への移動という点に重点を置いていることから、医療機関のやっていない土日祝日は運行しないこととしています。料金については、後ろのページに区間別の料金表を記載していま

す。最低金額を 300 円とし、距離が延びるごとに料金が加算されるという、運行距離に応じた料金設定としていますが、滝浜線同様、地区間、例えば、幌から床丹なら〇〇円という設定としています。資料 1 の 30 ページをご覧ください。ダイヤ表のようなものを載せています。デマンドですので予約がなければ走らない、いつも同じ時間に同じ所を走っている訳ではないですし、もし予約がなくて、空いていれば表の記載以外の所へも走るような運用も視野に入れておりますが、全くルールを決めずに予約を受けると大混乱になることが予想されますので、一定程度、この曜日のこの時間帯は、このニーズで使ってもらおうというルールを設定することで考えています。例えば月曜日を見ますと、一番上の朝 5 時半から 6 時 55 分までと、次のページの下の方の 16 時以降は、黄色くなっていますが、ここが、主に中央バスとの接続を中心に考えたフィーダーの部分です。ちなみに右側に現在の中央バス、沿岸バスの札幌方面に向かう幹線バスと浜益方面のバスの現在の発着時間を記載していますが、今の札幌線ですと 6 時 15 分に幌を出て、厚田支所に 7 時 1 分に着いて、札幌ターミナルに 8 時 33 分に着きますが、仮に札幌線が廃止された場合は、この上の黄色い所で区内から利用者を乗せて、6 時 55 分までに厚田支所の停留所にお連れし、厚田から出る中央バスに乗っていただくということで、赤字の時間がフィーダーの接続の時間となります。下の方は札幌線の帰りの時間帯にあわせたものです。また、厚田からですと今までの札幌線よりもバスの使える本数が増えますので、そこでの利用を想定した運行となっておりますが、真ん中の別の色の所、月曜日と言いますと 7 時 15 分からのオレンジ色で記載している所は、時間帯があう場合のフィーダーとしても使えますが、そのほかに区内移動にも使ってもらえます。この曜日で色が違う所は、区内移動での活用も想定していますことから、曜日方面別で運行します。逆に言いますと黄色の部分は、すべての区民が毎日使えるということの基本を考えています。以上が導入しようとするデマンドの内容です。開始時期を 28 年の 4 月上旬と計画しています。

続いて資料 1 についてですが、これは、新公共交通を実施するに当たって、この地域公共交通会議が主体者となり作成する計画で、この路線を運行するに際して国土交通省から補助金を頂くことも計画しており、そのために必要な計画でもあるので、その目的に合致させた書式となっております、ページや数字、表が多く、少し分かりづらい物になってはいると思いますが、基本的に市が実施しようとしていることは、先程來說明した中身であり、これを国から指定された項目として整理した内容となっておりますので必要な部分のみ説明いたします。

2 ページに計画の目的を記載しています。高齢化社会で交通弱者が浜益区で増えることが見込まれる反面、既存の公共交通の利用者数が減少しており、その継続が困難となってきている中で、利便性が高く、将来にわたって持続可能な公共交通体系を構築する必要があるという前提のもとに調査検討を行った結果、区内全域を網羅するとともに、幹線バスである中央バス、沿岸バスとの接続を目的とした、持続可能なバス交通体系を導入し、区民の生活利便性の向上を図ることとしています。

2 つ目の項目ですが、「地域公共交通確保維持事業に係る定量的な目標」については、この公共交通会議では、浜益区予約運行型の年間利用者数を目標数値として設定しようと考えています。平成 28 年度から 30 年度までの 3 ヶ年間の各年度の目標値ですが、28 年度は、半年間の運行なので、人数を少なくしていますが、概ね 6,000 人の利用を目標としています。この数値の積算については、前回の公共交通会議でご提案した中身そのままです。具体的には、アンケート結果、中央バス、沿岸バスでの

乗降調査、国保診療所において支所の職員が「ここにどうやって来ましたか?」「デマンド交通を入れたら使いたいと思いますか?」など、聴取調査を2週間実施した結果、さらには、厚田と浜益の中学生の合同部活動での利用見込人数、スクールバスの利用状況などから総合的に積算した結果です。各方面の1日当たりの利用者見込数に基づき、年間6,000人という目標数値を設定しました。

「3. 運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者」、「4. 事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額」については、5ページ以降をご覧ください。5ページの表1は、最初に28年度の表がありますが、事業者は石狩市で、市が運行業務を民間に委託することとしています。委託先はまだ決まっていません。系統は、先ほどから説明しておりますが、北方面、南方面、東方面、厚田方面の4つです。事業費は記載のとおりです。そしてデマンド型で接続地点は中央バスの厚田支所停留所です。系統を図示したものが8ページです。9ページの表2は、先ほどの表1の数値を積算するための書式ですが、「補助対象期間の前々年度の損益状況」という欄の一番右側に経常収益、経常費用、経常損益は、まだ実績がない為、28年度の見込金額を記載しています。

3ページに戻りますが、項目の9番については、15ページの表5に記載しており、補助金の上限額を計算するための基礎人口を算定するための書式となっています。「14. 協議会の開催状況と主な議論」については、昨年12月9日に「浜益区のバス交通に関するアンケート調査」結果など、石狩市地域公共交通調査事業の中間報告を、今年2月に生活交通ネットワーク計画素案ということで、デマンドを導入し、フィーダー機能を持たせるという方向性が出され、そして、今回、まとまった計画をご決定いただき、国に提出したいという中身です。

4ページでは、利用者等の意見をどうやって聴いたかという部分です。26年度に全区民を対象にバス交通に関するアンケート調査を実施し、60%近い回答をいただきました。また、この地域公共交通会議には各種団体の他、浜益区民からバス利用者及び住民を代表する委員に参加いただいております。また、浜益区地域協議会において、昨年度3回、今年度1回、計画案等を説明しご意見を伺いました。さらには、5月21日から6月9日までの期間に浜益区の各集落で9回、10地域で地区別説明会を開催し、合計117人の区民のご参加をいただきました。自治会や区民の皆様のご協力でたくさんのご意見を伺うことができました。また、自治会によっては、説明会よりは資料配布の方が良いという地域もありましたので、全戸への資料配布や電話による概要説明を行った上で、ご意見をいただきました。最後はこの公共交通会議の構成員について記載しています。以上が計画の内容です。それ以降のページについては、提出する添付書類です。

説明は以上です。よろしくご審議賜りますようお願いいたします。

【新岡会長】

ありがとうございました。

議論に入る前にお願いがあります。事務局のほうで議事録作成のために録音をしておりますので、私が指名してマイクのランプが点灯してからご発言をお願いします。

それでは、ただいま事務局の説明について、ご不明な点やご意見がありましたらご発言をお願いします。

【福岡委員】

先ほど、地域の方々に説明会というお話がありましたが、具体的にどんなご意見がありましたか。

【吉田主幹】

一番多かったのは、予約の仕方についてです。特に前日までに事前予約というのが原則ですが、例えば急に病院に行きたくなった場合や友達が病院に行くと言ったので、私も一緒に行きたいですとか、急に葬儀の予定が入った場合など当日の予約を受けられないのかというご意見がありました。今回の資料には細かく記載はしておりませんが、実は、今の滝浜線も全く当日の予約を受付けていないわけではなくて、運行などに支障のない範囲では、可能な限り柔軟な対応をしたいということで、これからこの事業者に運行を委託するか決まった段階で事業者と相談のうえ、進めたいと回答したところ
です。

【福岡委員】

可能な限りというのは9人ということですね。人数の枠は9人ですね。

【吉田主幹】

はい、人数は9人までです。柔軟な対応というのは、予約の受け方の部分で、例えば、滝浜線では現在、朝7時から7時30分の間であれば当日でも予約を受けています。ただ、先ほど説明した札幌線の時間帯にあわせた朝一番早いデマンド便ですと、7時にはもう厚田支所に着いてしまっているので、当日予約というのは難しいですが、その後の便であれば、間に合って、しかもまだ予約がなくて空いているならば乗れるということを前提に柔軟な対応をしたいということで検討したいと思います。

【福岡委員】

可能な限りというのは何人ということかなと思ったものですから。やはり9人ですよ。大きい車にはならないですよ。

【吉田主幹】

はい、車は1台で10人乗りワゴン車です。何回も行ったり来たりできるかという対応になるかと思っています。ただ、前回の公共交通会議でも説明いたしましたが、現在の中央バス札幌浜益線の利用人数が平日でも多くて5人、少なくて2人で土日はもっと少ないということ、また、国保診療所に行かれる方の多くはスクールバスの一般混乗を利用されていますが、その利用状況を見ると、多い日は、たしかに20人近く乗る日もあるのですが、平均すると7～8人ぐらいですので、そういう面では1台の車で行ったり来たりすれば対応できるのではないかと考えています。確かに、たった1台で大丈夫かと心配される区民の方もいらっしゃると思いますが、その点は曜日別運行という方法もとってはいるのですが、まずは1年やってみて、回りきれない所や、拾えなかった所があったとすれば、回れる方法

がないか検討していく、例えば、ダイヤの中で使われていないニーズがあれば、その部分をそちらに回すなどで対応するなど、それが単純に車の台数を増やすという方向にはならないかもしれませんが、そういう検討をしますし、明らかにもう1台あれば皆さんが間違いなく乗ってくれるし、利用者のニーズに応えられるとなれば台数を増やすことも検討には入れたいと思っています。

【真田委員】

浜益に回っていただいたことについては、感謝いたします。ありがとうございます。デマンドで、厚田への接続のほかに区内移動でも走るということですが、区内の運行は必要ないのではないかと思います。というのは、今のスクールバスで子どもたちを学校に置いた後の時間帯に運行していて、それを使って病院などに行けば良いので。

【田村課長】

おっしゃっているのは、資料1の30・31ページの表の黄色以外の所がいないということですか。

【真田委員】

はい、そうです。

【田村課長】

ご意見としては伺いますが、この計画のひとつのポイントとして、真田さんの地域は、スクールバス一般混乗の使い勝手の良い地域だと思いますが、とても利用しづらい地域もありまして、大きな道路まで出てこられない高齢者の方もいらっしゃるというご意見を伺っています。そういう部分もある程度網羅するためには、大きなバスで回っていても支線に入って行けませんので冬季間でも対応可能なワゴン車で家まで迎えに行くという方法が必要な方もいらっしゃるということでの運行を考えています。

【真田委員】

スクールバスも群別などでは、新道ではなく、中通を走っています。家もその沿線にかたまっています。そういうやり方もありますので、必ずしも家の前から目的地でなくても良いと思うのです。私の所もずっと離れているのですが、旧道を走ってもらえれば意外と楽なのです。デマンドもそういう風にやって欲しいと思うのです。

【田村課長】

スクールバスの一般混乗をなくすことを前提にしているわけではないので、スクールバスもご利用できます。スクールバスが使える方は料金も安いですし、そちらの方が便利な方は、ご利用いただければと思います。スクールバスの見直しをすることも必要かと思いますが、すぐに全てをなくすると

いうことはありません。28年度はこの計画で運行させていただき、もし、利用されていない部分があるならば見直しの検討はしますが、バスが全てなくなるということではないので。

【福岡委員】

毎日走るわけではないのですよね。曜日別で運行して、土日祝日は運休とあるのですが、アンケートでは、乗りたい時間にバスがないのでバスを利用しないという意見が多かったと思うのです。土日祝日がなくて、この時間帯となると、この課題が解決できるのか少し疑問に感じたのですが。

【吉田主幹】

アンケートでは、ご指摘のとおり、バス停が遠い、乗りたい時間に便がない、便数が少ないという意見が多くあったのですが、先ず、時間帯が合わないというケースについてですが、例えば、国保診療所に午前中にスクールバスで来たけれど、診療が終わると帰りのバスの時間を過ぎてしまっていたとか、次のバスまでの待ち時間が相当あるとかいう部分については、このデマンドをうまく使えば、むしろ利便性が上がると思います。

また、スクールバスの運行でも既に現在、曜日別運行を実施していて、区民の皆様の利用頻度を見ますと病院だと月1回、あるいは週1回というサイクル、おそらくは薬がなくなるサイクルが多いので、曜日運行であっても週に2回ぐらい運行していれば、その運行時間に生活のリズムというかサイクルを皆さんあわせて活動されているのではどうかかえます。また、札幌に行く部分では、今は中央バス、沿岸バスともに土日にも運行しています。

アンケートで、「乗りたい時間にバスがない」というのは、どちらかと言えば、曜日が合わないというよりも時間帯が合わないという部分が多いという風に受け取っています。もし、そうであればデマンドの方が利用者の都合に合わせてやすいのではと思います。勿論、路線バスのように、いつでもその時間ならば走っているというものではないので、今思い立って直ぐに乗れるわけではないのですが、時間の融通という部分に着目するならば、むしろ利便性が上がるのではと考えています。

【真田委員】

これを見ますと、金曜日までですよね。土日は予約しても走ってもらえないのですか。

【田村課長】

土日については、この運行自体が生活交通の確保ということで、娯楽も含めて生活ではありますが、先ず確保したい所としては、通勤、通学、通院というどうしても必要な用途での使用という部分でして、そう考えますと学校や病院は平日にやっていますから、先ずここを確保と考えました。土曜日曜については沿岸バスが走っていますのでそちらをご利用いただければと考えております。ですので、予約の有無にかかわらず土日の運行はしません。

【福岡委員】

今の話は区内の方の話ですが、浜益区以外に住む者として、例えば厚田支所から浜益に行く場合はどうすればよいのですか。

【田村課長】

ご予約をいただければ、利用できます。

【福岡委員】

予約しないといけないのですね。札幌ターミナルから厚田支所に来て、そこからデマンドを利用できるということになるのですね。

【真田委員】

やはり札幌から来たくても予約制ですか。

【田村課長】

全ての方が予約制です。

【真田委員】

急に来なければならぬ場合でも、満杯だったら乗れませんとなるのですか。

【田村課長】

基本的にはそうなります。満員でしたらお断りすることになると思います。

【吉田主幹】

予約については、予約という行為をしていただかないと、そこに乗りたい人がいることが分からないですよ。どんな場合で絶対に予約は必要です。となると、どの程度直前までに予約を受けられるかという部分になると思いますが、例えば、今、車が濃昼にいるときに雄冬から電話があって、今直ぐに乗りたいと言ってもこれは絶対無理ですよ。ただ、ちょうど浜益支所の前で待機しているとか、今調度お客さんを降ろした直後で、仮にタクシーみたいにセンターから無線などがあって、運転手まで連絡をとれる体制だったとすれば対応できる場合があると思います。現時点では、そういう体制のある会社かどうかという問題もありますし、そのためのオペレーターを専属で雇うとなれば経費もかかるので、委託先の事業者と相談のうえでできる範囲で可能な限り柔軟な対応を考えたいと思います。今は相手が決まっていないので、どこまでできるかをお答えすることはできません。

【福岡委員】

ここに時間が記載されていますが、ターミナルからバスで厚田支所に着いて、そこからデマンドに乗るとなると、バスは遅れてくると思うので、これだったら乗れないのではないかと思うのですが。バスが来るまでは待っているのですか。

【田村課長】

はい。待ちます。

【真田委員】

これはあくまでもお盆とか正月とかに臨時便はないのですか。中央バスは出ていましたよね。

【新岡会長】

中央バスは、基本的にお盆は通常運行ということですよ。それとも臨時便か何かでの対応でしたか。

【黒嶋委員】

その期間にお墓参りのバスが浜益まで1便運行しています。

【吉田主幹】

平日ではないお盆の日の扱いということですね。

【真田委員】

はい。

【田村課長】

そのバスは何時くらいの運行ですか。

【黒嶋委員】

いずれにしても、札幌線の関係も変わってきますので、また、その時点で色々な検討をしていかなければならないと思っています。現時点でどうだということはまだ言えません。

【田村課長】

その状況を見て、もし、必要があり、運行が可能であれば、便が増えるということであれば、こちらの便もそれに対応を検討したいと思います。あくまでも接続便ですので中央バスさんの動向によると思います。

【福岡委員】

中学校のクラブ活動のことを先ほど話していましたが、9人乗りで大丈夫なのですか。

【吉田主幹】

はい、5人ぐらいと聴いています。

【福岡委員】

料金の話ですが、今までの札幌線で幌まで行く料金と、厚田で乗り換えていく場合を比較すると、計算すると多分片道で370円高くなると思います。その辺はどうですか。

【吉田主幹】

幌から厚田支所まで今の中央バスの料金が1,080円ですので、これと比較すると、デマンドは1,100円ですから20円高くなります。

【福岡委員】

そうですか、勘違いしていました。

【福岡委員】

やはり外から浜益に行く部分ですが、今話しても駄目なのかもしれませんが、浜益はとても自然が豊かで温泉もあるし、黄金山もあるしということで、札幌や小樽方面から行きたいという声を私はよく聞くのです。その場合も温泉に行くことを考えてみたら、温泉は11時からぐらいですか。

【真田委員】

10時です。

【福岡委員】

それなら、温泉に入ってゆっくりして帰ってきたい人の希望には合わない気がしますね。そういう外からの観光客ではないですが、黄金山とか濃昼山道とかには、これは使えないのですかね。

【吉田主幹】

全く活用できないということではないとは思いますが、例えば今までより不便になるということはないのではないかと思います。ただ、今までより向上するかといえば、そちらのニーズよりは区民の足の確保に特化した取組になってはいます。

【田村課長】

前よりは行き易くなると思います。厚田支所まで来てもらえば、バスから接続できるし、浜益温泉にもお繋ぎできますので。

【福岡委員】

一般市民が動けるとなると、土日ですから、そこが使えないですよ。外からのことばかりですいません。やはり、浜益には行けないのだな、勿体ないと思うのです。

【新岡会長】

今のご意見はご要望ということで、伺います。

【新岡会長】

他にご質問やご意見はありませんか。

なければ、そろそろ質疑の方をしめたいと思いますが、私のほうから一点、事務局に確認ですが、今回進めていくとすれば、28年の4月から運行開始ということになるのですが、通常、こういった交通体系を始めるときには、先ず試行期間を設けるものですので、ご利用いただいて再度ご要望などをお聴きして、最終的なスタートとなると思いますが、このスタートに当たってお示ししている案がありますが、このままずっとやるという考えでは勿論ないということによろしいですよ。

【田村課長】

28年4月からの1年間は試行期間と捉えていただきまして、色々な形でお乗りいただきたいと思っています。その中でニーズの多い所、少ない所が出てくると思いますので、そこからまた検討をさせていただきたいと思っています。29年4月が本格運行ぐらいの気持ちで皆さんお乗りいただければと思います。

【真田委員】

道の駅はいつ頃できる予定ですか。場所は道路のどちら側になりますか。1年中やっているのですか。

【新岡会長】

平成30年度を予定しており、勿論、1年中開いていることになると思います。浜益から札幌に向かって左側の方になります。調度坂を下りる手前、消防署のある辺りになります。事務局に確認ですが、道の駅が稼動した場合には、こちらを繋ぐというようなイメージを現時点でも持っているということですか。

【田村課長】

構想としては、道の駅にターミナル機能を持たせて、そこを接続点としていきたいとは思っていますが、今、厚田支所の前にバス停がありますが、そこから厚田公園までを中央バスの方でバスの運

行を延ばしていただけるのかという部分の検討はまだ始まっていない段階です。構想としてはそのようにしたいと考えております。

【新岡会長】

それでは、本件については、ご承認いただいて進めていくということによろしいですか。

異議なし

【新岡会長】

議題の1番目については、原案どおり決定いたしました。

議題の2番目は「一般乗合旅客自動車運送事業の事業計画変更（中央バス札幌浜益線の廃止）について」となっております。

事務局から説明をお願いします。

【吉田主幹】

一般乗合旅客自動車運送事業の事業計画変更（中央バス札幌浜益線の廃止）について、ご説明いたします。

資料3をご覧ください。かねてより利用者の減少等により赤字不採算路線となっている中央バス札幌浜益線について、北海道中央バス株式会社さんから本年3月17日付けで管轄する石狩地域生活交通確保対策協議会、これは、石狩振興局、石狩管内版の公共交通会議に当たる組織ですが、この協議会に対して、「平成28年3月31日をもって、幌一安瀬間の運行を廃止したい」旨の届出が提出されました。資料の2ページ以降がその申出書の写しです。

バス路線を廃止する場合は、6ヶ月前までに運輸局に申請する必要がありますが、地域の生活交通にあたる路線については、申請する前に、地域の関係機関で構成する地域公共交通会議等で支障が出ないよう協議調整を整えてから手続を進めることとなっており、札幌浜益線は、札幌と石狩の2市町村をまたぐ路線なので、石狩振興局の協議会で検討することになります。そして、申出を受けた協議会からは、関係市町村である石狩市及び札幌市に対して、この件に関する意向を照会されているところです。資料の1ページが照会文書の写しです。回答期限の目処は、9月末ぐらいまでとなっておりますが、回答の仕方としては、支障がない場合は、「支障なし」と、代替交通がないなど、支障ある場合は、振興局の協議会で検討してほしいと希望を出すか、石狩市の公共交通会議で検討させてほしいと回答することとなります。

当路線については、地域の生活交通として運行を存続してもらうために、市が平成21年度より中央バスさんに対して赤字額の2分の1に相当する金額、上限500万円を補填してきたところですが、赤字額が年々増加し直近の会計年度決算においては、この路線の赤字額が約1,400万円におよび、今後、補填額を増加しなければ運行を継続することが困難な状況にあります。

市としては、先ほどご決定いただいた生活交通確保維持改善計画に基づき実施する予定の新デマンド交通に当該路線の代替交通として機能も盛り込んでおり、この導入により、廃止で生じる交通空白の解消を含め、区民の生活交通を確保できるのではと考えておりますことから、このデマンドの導入が実施できることが確実となった以後、9月末までの間で「支障なし」と回答したいと考えております。

なお、この件につきましては、5月下旬より実施してまいりました「地区別説明会」などでも浜益区民にご説明し、説明会においては、はっきりと廃止反対という声があったのは、一地区の数名のみであり、概ねの所では、利用者が少ないことは区民も承知しており、新デマンド交通が導入されるのであれば、仕方ないという反応だったと感じております。

ご説明しましたこれまでの経緯を踏まえ、この「支障なし」という判断について、妥当かを含め、ご意見等をいただきたいと存じます。

【新岡会長】

ありがとうございました。

9月までという話がありましたが、現在、新交通で使用する車の購入予算を開催中の市議会に上程しております、まだ議決していないこと、また、今後進める運行委託事業者との調整などの状況も踏まえ、市で最終判断したいということによろしいですね。

それでは、ただいまの事務局の説明について、ご不明な点やご意見がありましたらご発言をお願いします。

【福岡委員】

一箇所ですら困るという意見があったとのことですが、どんな理由でしたか。

【吉田主幹】

お一人は、札幌に孫がいて、運動会などに行きたい。そういう時に不便になるというご意見でした。もう一人は、実際に中央バスをご利用されているかは、聞いている限りでは不明だったのですが、どちらかというと浜益という地域が市町村合併後、色々な施設など無くなっていくことがあって、そういった背景もあってといたしますか、各論というより総論で市の対応がどうなのだという部分があり、ただ補助金を増額して続けたらよいのではないかとというような趣旨のご意見でした。

【福岡委員】

市としては、もっとお金を中央バスさんに払って継続するという選択肢はあるのですか。

【田村課長】

あるかないかということではなく、これから費用を増額して赤字分を全て補填するような金額を出すよりは、今回提案させていただいているデマンド公共交通を運行することで、より安価で利便性の

高い、また継続が可能な交通体系を持った方が効果的なのではという判断です。お金が出せないというわけではありません。

【新岡会長】

事務局から、今想定している事業費との関連でそのあたりを説明していただけますか。

【吉田主幹】

前回の交通会議でも、公共交通にかかっている費用ということで、福岡委員からもご質問もあつてご説明しましたが、市で運行している公共交通と中央バスさんに補助している金額というのがあります。現在は中央バスさんに500万円の補助をしていて、今年度も500万円を予算化しています。これをこのままの金額で継続することは中央バスさんの立場からみれば、難しいと思いますが、仮に500万円だったとしても、デマンドでは、先ほどお話しましたとおり、運賃収入と国からの補助金により500万円以内の経費負担でできると踏んでおりまして、であればトータルコストとしては、削減の方向ではないかということがひとつあります。また、将来的に見ても今のスクールバス混乗の良くない部分は、とても決め細やかに回ってはいませんが、誰も乗っていない時間があるということでアンケートでもご指摘がありました。これは定時定路線方式の宿命で、乗る人がいなくてもダイヤを決めたらそこは運行しなければならないですよね。そういう無駄な部分を減らすことができるのがデマンドの良い所ですし、ワゴン車という車の大きさは、これから区人口が減っていても調度良い大きさであり、例えばスクールバスについては、近い将来、児童生徒の移動分も含めてそんなに大きいバスは必要ないという時が来ると思います。そういう意味で中央バスさんの話だけではなくトータル的に市の公共交通全体を見据えたうえで、例えば、スクールバスに生じる無駄を、デマンドを使うことで省けるとか、デマンドのロススクールバスで埋めるということもあるかもしれません。そういう総合的な判断の中では、デマンド方式という手法が一番安上がりなのではないかと考えていまして、しかも高齢者が増えてバス停まで行くのが辛いという人が増えてくるので、よりこの地域にあった方法ということで、そちらの方にお金を使う方向に切り替えた方が長い目で見ても有利なのではないかと考えています。

【新岡会長】

市の姿勢としては、中央バスさんに今まで支えていただいていた地域の交通なのだけれども、やはり乗る方も少なくなって事業者さんでは維持が困難な状況であり、最終的には地域の公共交通は市が責任を持って継続していくという立場で今回の部分は前段のデマンド交通を提案させていただけることでもあります。

他にご質問やご意見はありませんか。

それでは、9月末までに市でデマンド交通の実施について具体的な確証を持ちながら、中央バスさんの路線廃止については了解していくという方向で動いていくということによろしいですね。

異議なし

【新岡会長】

それでは、議題の2番目を終了いたします。

そのほかに公共交通について、委員の皆様から何かご質問ご意見等あります。

無いということですので、これで議事を終了します。皆さまのご協力で円滑に議事を進めることができました。ありがとうございました。

今後の進行を事務局にお願いします。

【田村課長】

新岡会長、ありがとうございました。

それでは今後のスケジュールにつきまして、ご案内させていただきます。まずは、浜益区の新公共デマンド交通につきましては、本日決定された、石狩市生活交通確保維持改善計画を今月末までに国土交通省に提出します。

また、石狩市の動きとしましては、このデマンド交通の料金ですとか利用の条件について定める条例を整備するため、市民参加手続、パブリックコメント手続を来月1日から1ヶ月間実施します。このご意見をもとに条例案、今既に制定している「市有自動車運送事業の設置及び運営に関する条例」の一部改正案を平成27年第4回市議会定例会に提出する予定です。それと同時進行で委託先予定事業者との調整や市民への周知を進めてまいります。年明け1月ぐらいには、事業者と運行委託契約を締結し、運行に係る運輸支局への登録申請手続などを行ってまいります。

中央バス廃止に係る石狩地域生活交通確保対策協議会への回答の件は、会長からもご説明いただいたとおりです。

また、今後の公共交通会議の予定ですが、今年度は、この計画についてパブリックコメントなどの結果、大きな計画変更が必要となった場合以外には開催の必要がないと思いますが、必要が出ました時には、改めてご案内させていただきますのでご出席のほどよろしく願いいたします。

【吉田主幹】

補足させていただきますが、先ほど議題1でご承認いただきました確保維持改善計画についてですが、提出先の運輸支局さんとのやりとりの中で書類の記載方法ですとか若干の修正を求められる場合があると思いますが、その辺の対応につきましては、事務局に一任いただくということでご承認いただきたいと存じますのでよろしく願いいたします。

異議なし

【田村課長】

スケジュールなどについて、何かご質問はございますか。

本日は長時間にわたってのご議論、ありがとうございました。
これで「平成27年度第1回石狩市地域公共交通会議」を終了いたします。
ありがとうございました。

－ 議事録署名 －

平成27年 7月 8日

会長 新 岡 研 一 郎